

2024年度 学科別授業科目一覧表（実務経験表記あり）

課程：工業専門課程

学科：ウェブ・メディア科

NO.	授業科目	学年	授業時間数	単位	必須・選択	講義・実習	実務経験
1	動画編集 I	1	60	4	必修	実習	有
2	JavaScript I	1	60	4	必修	実習	有
3	JavaScript II	1	60	4	必修	実習	有
4	HTML/CSS I	1	60	4	必修	実習	有
5	HTML/CSS II	1	90	6	必修	実習	有
6	Webデザイン実践	1	45	3	必修	実習	有
7	データベース演習(SQL)	1	30	2	必修	実習	有
8	ポートフォリオ制作	1	60	4	必修	実習	有
9	進級制作 I	1	30	2	必修	実習	有
10	進級制作 II	1	60	4	必修	実習	有
11	業界研究	1	30	2	必修	実習	有
12	デザイン基礎 I	1	30	2	必修	講義	有
13	デザイン基礎 II	1	30	2	必修	講義	有
14	アプリケーション演習 I	1	60	4	必修	実習	有
15	アプリケーション演習 II	1	30	2	必修	実習	有
16	アルゴリズム	1	60	4	必修	講義	有
17	office基礎	1	30	2	必修	実習	有
18	色彩検定対策	1	15	1	必修	講義	有
19	資格対策 I	1	30	2	必修	講義	有
20	資格対策 II	1	30	2	必修	講義	有
21	基礎学力	1	30	2	必修	講義	無
22	就職対策 I	1	30	2	必修	講義	有
23	プレゼンテーション I	1	30	2	必修	実習	有
24	体育実習 I	1	60	4	必修	実習	無

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		ウェブ・メディア科	2024		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	動画編集 I	黒澤 純一	有	4単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

ウェブ広告、YouTube、映画、TV、ゲーム、アニメなど、様々なコンテンツ制作に利用することができる Adobe Premiere Pro、After Effectsの技術習得、及び様々な動画の表現手法を理解して、活用できるようになることを目指す。

【講義概要】

動画の表現手法とAdobe After Effects、Premiere Proの機能について解説し、学習した内容を基に課題制作に取り組むことで理解を深める。また、制作した動画をWebサイトに実装する。

回	授業計画及び学習の内容
1	講義概要、動画の仕組みと効果、ウェブでの活用方法について解説 Premiere Pro演習① 作業フォルダ作成・カット編集・書き出しの一連を体験する シーケンス、クリップ、タイムラインなどの主なワークスペースの解説
2	Premiere Pro演習② テロップ、画像合成、サウンド調整・BGMの追加、カラー補正について
3	Premiere Pro演習③ 各種エフェクト項目、キーフレームアニメーションについて、スライドショー作成
4	ウェブ活用① YouTubeへの動画のアップロード、ウェブ用のエンコードや対応形式について、 動画のファイル形式と種類、フレームレート/サイズ(解像度)、コンテナ/コーデックの理解
5	ウェブ活用② YouTube配信について、画面録画・配信ツールOBS Studioについて
6	ウェブ活用③ ウェブページに動画を埋め込む・外部サイト(YouTubeなど)の動画を埋め込む方法、 video / iframeタグの属性、各環境での動画再生の特性について解説
7	前回までの復習を兼ねた課題制作(次回の確認テスト対策)
8	確認テスト・・・①文章問題:基本的な動画に関する知識 ②実技:基本的な動画編集、ウェブページへの動画の埋め込み
9	広告研究① PR動画の制作手法などを学習して「伝わる動画」について理解する
10	広告研究② テーマに沿ったPR動画の制作、動画におけるデザインについて
11	課題制作① 学科説明動画・CM制作
12	課題制作② 続き
13	課題制作③ 完成 観賞/評価会
14	課題 各種コンテストや本校のイベントに関する動画制作①
15	課題 各種コンテストや本校のイベントに関する動画制作②

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	課題レポート	平常点	その他()	合計
割合	60%		20%	20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

【教員紹介】

エンタメ・デザイン・映像関連企業にて企画・制作業務に従事

【教科書・参考文献】

講義内容に沿ったテキストの配布

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		ウェブ・メディア科	2024		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	JavaScript I	山田忍	有	4単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

JavaScriptの標準仕様を理解し、JavaScriptをWebサイトに組み込むことができるようになる。

【講義概要】

プログラミングの基礎について講義し、JavaScriptの書き方を演習を通して学ぶ。
各講義では授業の理解度を測るために課題の提出を求める。
各自10分ほどでJavaScriptについて研究を行い発表をLT形式で行う。自身で研究を深めることでより理解を深めてもらうことを狙いとしている。

回	授業計画及び学習の内容
1	JavaScriptの基本 プログラムの仕組み、JavaScriptの基礎、環境構築、画面に出力する
2	JavaScriptの基本 数値の計算、文字列の表現
3	JavaScriptの基本 変数、値の型、関数
4	JavaScriptの基本 関数、条件分岐、正規表現、演算子
5	JavaScriptの基本 関数、条件分岐、正規表現、演算子
6	基本のデータ操作 配列、オブジェクト、JSON☑
7	基本のデータ操作 配列☑
8	基本のデータ操作 制御構文☑
9	基本のデータ操作 制御構文☑
10	基本のデータ操作 イベント処理☑
11	基本のデータ操作 イベント処理☑
12	総合演習
13	総合演習
14	総合演習
15	総合演習

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	60%	20%	0%	20%	0%	100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
 - ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

【教員紹介】

専門学校やエンタメ業界にてウェブ広報／ウェブデザイナーとして企画・制作業務に従事。

【教科書・参考文献】

プロフェッショナルWebプログラミングJavaScript、オリジナル教材

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	ウェブ・メディア科	2024	1年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	JavaScript II	山田忍	有	4単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

前期で学んだJavaScriptの基本を踏まえ、ウェブ上での振る舞いやウェブアプリケーションへの実装方法を理解する

【講義概要】

Webサイトやウェブアプリケーションを作成しながらJavaScriptをより深くまで学ぶ
各講義では授業の理解度を測るために課題の提出を求める。

回	授業計画及び学習の内容
1	ガイダンス JavaScriptの基本 前期の復習
2	基本のデータ操作 非同期処理
3	基本のデータ操作 Canvasについて
4	基本のデータ操作 Canvasについて☒
5	基本のデータ操作 アニメーション☒
6	モジュールについて
7	課題 Webページ上で扱う
8	課題 Webページ上で扱う
9	課題 Webページ上で扱う
10	課題 アプリケーション作成
11	課題 アプリケーション作成
12	課題 アプリケーション作成
13	さまざまなJavaScriptライブラリを扱う
14	総合演習課題
15	総合演習課題

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	60%	20%	0%	20%	0%	100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

【教員紹介】

専門学校やエンタメ業界にてウェブ広報／ウェブデザイナーとして企画・制作業務に従事。

【教科書・参考文献】

プロフェッショナルWebプログラミングJavaScript、オリジナル教材

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	ウェブ・メディア科	2024	1年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	HTML/CSS I	黒澤 純一	有	4単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

ウェブページを構成する主な要素であるHTML/CSSの基本的な記述方法と役割について理解し、演習を通じて、制作技術の習得を目指す。

【講義概要】

HTML/CSSの基本的な知識と記述方法について学習し、学習した内容を基に課題制作に取り組むことで理解を深める。

回	授業計画及び学習の内容
1	基礎① ウェブサイト制作のための環境構築、エディタの使い方、HTML/CSSの概要説明と記述体験
2	基礎② HTMLの基本的な書式の解説、各種タグの記述演習
3	基礎③ CSSの基本的な書式の解説、各種プロパティの記述演習
4	基礎④ レイアウトについて、ボックスモデルの構造と関連するCSSプロパティの記述演習
5	小テスト1、解答解説
6	基礎⑤ フレックスボックスとグリッドレイアウトの解説、記述演習1
7	基礎⑥ フレックスボックスとグリッドレイアウトの解説、記述演習2
8	基礎⑦ ナビゲーション、フォームについて、関連するHTMLタグの記述演習
9	基礎⑧ レスポンシブデザインとメディアクエリの解説、記述演習
10	基礎⑨ 複数ページあるウェブサイトの制作、復習
11	小テスト2、解答解説
12	実践 ウェブページ制作課題① 自己紹介サイト
13	実践 ウェブページ制作課題② 自己紹介サイト、作品発表
14	課題 レポート
15	課題 ウェブサイト制作

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	課題レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	60%		20%	20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

【教員紹介】

エンタメ・デザイン・映像関連企業にて企画・制作業務に従事

【教科書・参考文献】

スラスラわかるHTML&CSSのきほん 第3版、狩野 祐東 (著)、SBクリエイティブ

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	ウェブ・メディア科	2024	1年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	HTML/CSSⅡ	山田 忍	有	6単位 90時間

【授業の到達目標及びテーマ】

前期に学んだHTML/CSSの基礎をもとに後期ではウェブサイトの制作を通して実践的な制作スキルを身につける。

【講義概要】

ウェブサイトの制作をこなしながら、内部SEOやSNS連携、APIの活用方法などを講義する。
CSS設計や仕様書に沿ったサイト制作などより実践的な内容を学ぶ

回	授業計画及び学習の内容
1	HTML/CSSの基礎復習
2	マルチレイアウトを学ぶ レスポンシブデザイン（ブロックグリッド・スプリットスクリーン）
3	表組みとフォーム設計を学ぶ
4	CSS設計を学ぶ
5	仕様書に沿ったサイト制作を学ぶ
6	Webサイト制作演習
7	Webサイト制作演習
8	Webサイト制作演習
9	Webサイト制作演習
10	ポートフォリオサイトの制作
11	ポートフォリオサイトの制作
12	ポートフォリオサイトの制作
13	ポートフォリオサイトの制作
14	ポートフォリオサイトの制作
15	ポートフォリオサイトの制作

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合						100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

【教員紹介】

専門学校やエンタメ業界にてウェブ広報/ウェブデザイナーとして企画・制作業務に従事。

【教科書・参考文献】

プロを目指す人のHTML&CSSの教科書

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2024		1年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	Webデザイン実践		山田忍	有	3単位 45時間	

【授業の到達目標及びテーマ】

Webデザインを行ううえで必要な基礎知識を身につける。
UI制作に必要なアプリケーションを使いこなす。

【講義概要】

Figmaを使用してWebデザインの手法について学ぶ。
関連科目と連携した制作課題を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	オリエンテーション 「Webデザインの流れを学ぶ、必要な環境とツールについて」
2	ワイヤーフレームの作り方を学ぶ。 演習：ワイヤーフレーム制作
3	デザインツールFigmaの使い方を学ぶ 基本操作・画像の書き出し
4	デザインツールFigmaの使い方を学ぶ 演習：Figmaを使用したデザイン制作
5	デザインツールFigmaの使い方を学ぶ 演習：Figmaを使用したPC・スマホUI制作
6	デザインツールFigmaの使い方を学ぶ 演習：Figmaを使用したプロトタイプ制作
7	デザインガイドライン、レイアウトルール、デバイス特性を学ぶ。画像の解像度・拡張子について
8	感覚を言語化してデザインに落とし込む方法「レイアウト、フォントの選択、配色」
9	演習：ヘッダーデザイン、ヒーローイメージデザイン、ナビゲーションデザイン
10	演習：ボタンデザイン、アイコンデザイン、背景デザイン
11	演習：サイト全体のレイアウトデザイン
12	制作課題「Webデザイン制作」ワイヤーフレームをもとWebサイトのデザインを制作する
13	制作課題「Webデザイン制作」ワイヤーフレームをもとWebサイトのデザインを制作する
14	制作課題「Webデザイン制作」ワイヤーフレームをもとWebサイトのデザインを制作する
15	制作課題「Webデザイン制作」ワイヤーフレームをもとWebサイトのデザインを制作する

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	60%	0%	20%	20%	0%	100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

【教員紹介】

専門学校やエンタメ業界にてウェブ広報／ウェブデザイナーとして企画・制作業務に従事。

【教科書・参考文献】

オリジナル教材

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	ウェブ・メディア科	2024	1年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	実習	データベース演習 (SQL)	久良知 眞紀子	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

簡単なデータベースを構築し、SQLによってデータが自由に取扱いできるようになることを目指す。

【講義概要】

データベースの授業で学んだ内容を、XAMPPのデータベース管理システムMariaDBを用いて確認する。SELECT文によるデータ抽出、CREATE、INSERT、UPDATE、DELETEによる表の作成・更新を学ぶ。SQL文を7回に分けて復習する。復習した次の回には、その内容を使った演習を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	XAMPPの概要説明、サンプルデータベースのインポート。 サンプルデータを使って、SELECT命令、DISTINCTキーワード、WHERE句の演習を行う。
2	あいまい検索 (LIKE)、論理演算子 (演算子の強度)、並べ替え (ORDER BY) 特定範囲のレコードの抽出 (LIMIT)、日付データの取扱い、NULLの扱い
3	集計、グルーピング (GROUP BY)、別名 (AS)、文字列/日付データの加工 (各種関数) グルーピング結果に対する条件設定 (HAVING)、条件による値の変更 (CASE)
4	テーブル結合 (内部結合、外部結合、自己結合)
5	復習問題 (1回～4回)
6	サブクエリ、複数テーブルからのデータ結合 (UNION)、復習問題 (1回～4回)
7	中間試験 (実施予定なし)
8	仮想テーブルの作成 (VIEW)、データの登録 (INSERT)、更新 (UPDATE)、削除 (DELETE) サブクエリとの組合せ
9	データベース、テーブルの作成・削除 (CREATE、DROP)
10	総合演習1
11	総合演習2
12	総合演習3
13	総合演習4
14	総合演習5
15	期末試験 (実施予定なし)

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合					100%	100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

【教員紹介】

① 銀行でシステム開発 (2年) ②ソフトウェア開発会社でシステム開発 (2年) ③起業し、システム開発、教育、翻訳、テクニカルライティング (20年)

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2024		1年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	ポートフォリオ制作		黒澤 純一	有	4単位 60時間	

【授業の到達目標及びテーマ】

1年次前期に取り組んだ課題をポートフォリオサイトとしてまとめる。

【講義概要】

クリエイターとして活動するには、制作スキルはもちろんポートフォリオや能力をアピールするプレゼン力が必要である。ポートフォリオ制作について個別の指導を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	本講義のガイダンス、ポートフォリオとは？
2	ポートフォリオ制作①
3	ポートフォリオ制作②
4	ポートフォリオ制作③
5	ポートフォリオ制作④
6	中間発表①
7	ポートフォリオ制作⑤
8	ポートフォリオ制作⑥
9	ポートフォリオ制作⑦
10	ポートフォリオ制作⑧
11	中間発表②
12	ポートフォリオ制作⑨
13	ポートフォリオ制作⑩
14	ポートフォリオ制作⑪
15	最終発表

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	課題レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%		0%	20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

【教員紹介】

エンタメ・デザイン・映像関連企業にて企画・制作業務に従事

【教科書・参考文献】

講義内容に沿ったテキストの配布

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	ウェブ・メディア科	2024	1年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	進級制作 I	榎本博文	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

プロフェッショナルなウェブ開発者として成長するための実践的なコースです。学生は個別のプロジェクトを進めながら、フロントエンドおよびバックエンドの開発スキルを向上させ、チームワークとプロジェクト管理の能力を磨きます。

【講義概要】

ウェブページ制作やデザインの授業で学んだ基礎的な項目を元にポートフォリオを作成やグループワークなどの課題を制作する。

回	授業計画及び学習の内容
1	進級制作についての概要説明と目標説明に関して
2	プロジェクトの範囲と要件の明確化
3	HTML、CSS、JavaScriptの基礎のおさらいと、チーム作業に関して
4	チームでのプロジェクト発表 その1
5	チームでのプロジェクト発表 その2
6	成果発表とフィードバック
7	チームでのプロジェクト発表 その3
8	チームでのプロジェクト発表 その4
9	成果発表とフィードバック
10	チームでのプロジェクト発表 その5
11	チームでのプロジェクト発表 その6
12	成果発表とフィードバック
13	チームでのプロジェクト発表 その7
14	チームでのプロジェクト発表 その8
15	成果発表とフィードバック

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	課題レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	40%		10%	50%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

【教員紹介】

ウェブ制作会社・代理店などでウェブデザイナー、プロジェクトマネージャーなど業務に従事。

【教科書・参考文献】

Google アナリティクス アカデミー (Google公式サイト) など

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2024		1年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	進級制作Ⅱ		黒澤 純一	有	4単位 60時間	

【授業の到達目標及びテーマ】

1年間の学びの集大成として作品制作を行う。
制作は個人・グループで行う。学内外へ向けた成果発表を行うことをゴールとする。

【講義概要】

企画作成から制作、テスト、発表まで一貫して行う。教員によるレビューを挟み作品のクオリティアップを目指す。

回	授業計画及び学習の内容
1	本講義のガイダンス、企画作成
2	企画作成、レビュー
3	企画発表
4	作品制作、レビュー
5	作品制作、レビュー
6	作品制作、レビュー
7	中間成果発表
8	作品制作、レビュー
9	作品制作、レビュー
10	作品制作、レビュー
11	中間成果発表（冬休み明け）
12	作品制作、レビュー
13	作品制作、レビュー
14	作品制作、レビュー
15	完成発表

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	課題レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%		0%	20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

【教員紹介】

エンタメ・デザイン・映像関連企業にて企画・制作業務に従事

【教科書・参考文献】

講義内容に沿ったテキストの配布

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		ウェブ・メディア科	2024		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	実習	業界研究	大武政満	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

企画書がないコンテンツの仕事はないと言える。プロジェクトを成立させるための企画書作りとそれを実現させるための方法を学んでいこう。

【講義概要】

企画書の作りかたを学びつつ、クリエイティブの発想力を養いつつ、様々なクリエイティブ業界の構造と仕事のスタイルについて学ぶ。また、不定期にクリエイティブ業界について現役の方を呼び、簡単なお話と質疑応答などを行う。その場合は簡単なレポートを書く。テストは発想力を試すテストを行い、テストの点と企画書を採点に置いて重視する。

回	授業計画及び学習の内容
1	授業ガイダンス・逆企画書
2	逆企画書・フィードバック等
3	逆企画書プレゼン・人狼で企画を作ろう
4	仕事の進め方フローや役割&人狼を題材に企画書を作る
5	ゲームジャンル&アプリゲーム簡易企画書
6	ゲームジャンル&アプリゲーム簡易企画書
7	中間試験
8	ゲーム企画書作成&お話の構造についてOR業界ゲスト
9	ゲーム企画書作成&お話の構造についてOR業界ゲスト
10	ゲーム企画書ブラッシュアップ
11	ゲーム企画書プレゼン
12	ゲーム企画書まとめOR業界ゲスト
13	ゲーム企画書まとめOR業界ゲスト
14	ゲーム企画書まとめOR業界ゲスト
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	課題レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	40%	5%	10%	30%	15%	100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

【教員紹介】

脚本家・シナリオライター&コンテンツプランナー
代表作：ダンボール戦機、天華百剣、ニンジャラ
専門学校&サブカル教室講師歴15年・企画と漫画・小説シナリオなどで教鞭をとる
現役で大手ゲーム会社のシナリオなどを担当

【教科書・参考文献】

プリント配布

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		ウェブ・メディア科	2024		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	講義	デザイン基礎 I	福屋 貞行	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

初めて「デザイン」を学ぶ学生に向けてレイアウト・文字組み等のグラフィック知識、およびWebデザインを学習します。「アート」と「デザイン」の違いを理解し、情報をいかに効率よく間違いなく伝えるかのデザインルールを学習します。座学学習と実習学習を相互に取り入れ、4つの基本原則（コントラスト、反復、整列、近接）を元に、講義の終盤では、実践演習を行います。名刺作りを必須課題とし、印刷会社へのデジタル入稿(DTP印刷)を体験していただきます。名刺制作費の実費が1,000円～3,000円程度かかります。常にものづくりへのアンテナを張り、街中に溢れているデザイン、UI/UXを意識し「何故そのデザインなのか？」と考える力を養うことを目的とします。

【講義概要】

教科書をベースに、デザインの基礎を習得し、並行して作品を制作していただきます。

回	授業計画及び学習の内容
1	オリエンテーション、教本【Chapter1 デザインとはvol.01】リサーチ課題：広告集め
2	教本【Chapter2 レイアウトの法則vol.01】
3	教本【Chapter2 レイアウトの法則vol.02】リサーチ課題：広告集め講評1
4	教本【Chapter3 文字の法則】
5	教本【Chapter5 デザインの手法】※【Chapter4 カラーの法則】は別枠色彩学の授業で補填いただきます。
6	教本【Chapter5 デザインの手法】実践演習1 Vol.01：チラシ制作（課題出題）
7	実践演習1 Vol.01：チラシ制作(中間講評)
8	実践演習1 Vol.02：チラシ制作(中間講評)
9	実践演習1 Vol.03：チラシ制作(最終講評)、実践演習2 Webサイト制作1(課題出題)
10	実践演習2 Vol.01：Webサイト制作1(中間確認1)
11	実践演習2 Vol.02：Webサイト制作1(中間確認2)
12	実践演習2 Vol.03：Webサイト制作1(最終確認)、実践演習3 Webサイト制作2、ゲームUI制作1
13	実践演習3 Vol.01：Webサイト制作2、ゲームUI制作1(中間確認1)
14	実践演習3 Vol.02：Webサイト制作2、ゲームU制作1(中間確認2)
15	実践演習3 Vol.03：Webサイト制作2、ゲームU制作1(最終講評)

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	100%					100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

【教員紹介】

Web制作会社にてエンジニアとして業務に従事

【教科書・参考文献】

やさしいデザインの教科書[改訂版]

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科	2024		1年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎専門 必修	講義	デザイン基礎Ⅱ	福屋 貞行	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
<p>本講義では、初めて「デザイン」を学ぶ学生に向けてレイアウト・文字組み等のグラフィック知識、およびWebデザインを学習します。</p> <p>「アート」と「デザイン」の違いを理解し、情報をいかに効率よく間違いなく伝えるかのデザインルールを学習する。(前期と同様)</p> <p>デザイン自体を表層的なものとするのではなく、あらゆるものに該当し、例えばプログラミングなどで表現できる動きやUI/UXもデザインの一部だと理解する。</p> <p>実制作を中心に経験を積み、相手に伝わるデザイン、プレゼンテーションを心掛ける。</p> <p>作って終わりではなく、しっかりと振り返りをし、より完成に近づける姿勢を身に付ける。</p>						
【講義概要】						
教科書をベースに、デザインの基礎を習得し、並行して作品を制作していただきます。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	ハイジアクリスマスバナー個人講評 作品提出直前講評					
2	前期課題「フライヤー」最終講評法則vol.01】前期最終課題のA4サイズフライヤーの最終講評					
3	名刺作成 講評 イラストレーターを使用した名刺の講評					
4	優れたUI/UX (第1回) 身近にある優れたUI/UXの既製品(ゲームなどでも可)をリサーチし、グループワークにて、プレゼン資料としてまとめる					
5	優れたUI/UX (第2回) 第4回のプレゼンを行う(チームの全員がスピーカーとして話す)					
6	フリーデザイン (課題説明) 自らモチーフを決めて、作品を作る課題の方向性確認。提出形態は自由。					
7	中間試験					
8	美術館、展覧会レポート 提示された中から1つ興味のある催事を選び、感想(得たもの、感じたこと、自分との対比、今後の方向性など)をレポートにまとめてプレゼン					
9	美術館、展覧会レポート、ポートフォリオ 初回チェック 第7回の続きと、ポートフォリオの初回チェック(方向性と不足要素の確認)					
10	ポートフォリオ 初回チェック 第8回の続き					
11	フリーデザイン 作品プレゼン 第6回フリーデザインのプレゼンと講評					
12	ポートフォリオ 中間チェック(個人) ポートフォリオプレゼン前の確認					
13	ポートフォリオ プレゼン(第1回) ポートフォリオを使用し、より実践に近いプレゼンを行う出題)					
14	ポートフォリオ プレゼン(第2回)、総表 ポートフォリオを使用し、より実践に近いプレゼンを行う					
15	期末試験					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計
割合	60%		10%	30%		100%
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。						
【教員紹介】						
Web制作会社にてエンジニアとして業務に従事						
【教科書・参考文献】						
やさしいデザインの教科書[改訂版]						

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	ウェブ・メディア科	2024	1年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	実習	アプリケーション演習 I	黒澤 純一	有	4単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

Adobe Photoshop の基本的な技術習得を目指す。
また、課題制作を兼ねた各種資格・デザインコンテストの入賞を目指す。

【講義概要】

Adobe Photoshop の基本的な操作方法とデザインの概要を学習し、
学習した内容を基に各種課題の制作に取り組むことで理解を深める。

回	授業計画及び学習の内容
1	講義概要、Adobe Photoshopの基本情報について、できることや現代の使い方について解説、基本操作の演習
2	画像編集の基本を知る①（ドキュメントサイズと設定項目、解像度、ワークスペース、レイヤーの概念の理解）
3	画像編集の基本を知る②（画像の切り抜き、明るさ/色の調整、選択範囲とマスク、レタッチ、画像合成など）
4	画像ファイルの扱い方を知る（ベクターとラスター形式の違い、ファイル形式の種類、画像の最適化について）
5	ポスター制作を通じてPhotoshopが得意なデザインを学ぶ（写真のレタッチ、レイヤースタイル、フィルターなど）
6	確認テスト
7	画像素材の持つ効果や特性について学ぶ（ウェブサイトや広告での画像の使い方、写真の構図について）
8	画像編集の表現の幅を広げる演習（高度なレタッチ・合成、立体表現など）
9	ウェブ広告のデザイン制作（種類とその役割について知る、各種バナー広告のデザイン制作）
10	課題 デザイン制作① 制作物の概要説明、実践的な制作フローに基づいて制作する
11	課題 デザイン制作② 制作
12	課題 デザイン制作③ 完成、作品発表
13	課題 各種コンテストや本校のイベントに関するデザイン制作①
14	課題 各種コンテストや本校のイベントに関するデザイン制作②
15	課題 各種コンテストや本校のイベントに関するデザイン制作③

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	課題レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	60%		20%	20%		100%

(補足)
・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
・レポートや自習課題は必ず提出すること。

【教員紹介】

エンタメ・デザイン・映像関連企業にて企画・制作業務に従事

【教科書・参考文献】

講義内容に沿ったテキストの配布

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	ウェブ・メディア科	2024	1年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	実習	アプリケーション演習Ⅱ	黒澤 純一	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

Adobe Illustrator の基本的な技術習得を目指す。
また、課題制作を兼ねた各種資格・デザインコンテストの入賞を目指す。

【講義概要】

Adobe Illustrator の基本的な操作方法とデザインの概要を学習し、
学習した内容を基に各種課題の制作に取り組むことで理解を深める。

回	授業計画及び学習の内容
1	講義概要、Adobe Illustratorの基本情報について、できることや現代の使い方について解説、基本操作の演習
2	ドローソフトの基本を知る①（ドキュメントサイズと設定項目、解像度、ワークスペース、レイヤーの概念の理解）
3	ドローソフトの基本を知る②（各種図形の描画、パスの操作/描画、オブジェクトの塗りと線など）
4	画像ファイルの扱い方を知る（ベクターとラスター形式の違い、ファイル形式の種類、画像の最適化について）
5	確認テスト
6	チラシ制作を通じてIllustratorが得意なデザインを学ぶ（デザインの4原則の意識、印刷用の各種設定など）
7	ロゴやアイコン素材の持つ効果や特性について学ぶ（各種メディアでの使い方など）
8	課題 名刺作成① 概要説明、デザイン考案
9	課題 名刺作成② 制作
10	課題 名刺作成③ 制作
11	課題 名刺作成④ 制作
12	課題 名刺作成⑤ 完成、印刷会社へ入稿
13	課題 各種コンテストや本校のイベントに関するデザイン制作①
14	課題 各種コンテストや本校のイベントに関するデザイン制作②
15	課題 各種コンテストや本校のイベントに関するデザイン制作③

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	課題レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	60%		20%	20%		100%

(補足)
・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
・レポートや自習課題は必ず提出すること。

【教員紹介】

エンタメ・デザイン・映像関連企業にて企画・制作業務に従事

【教科書・参考文献】

講義内容に沿ったテキストの配布

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	ウェブ・メディア科	2024	1年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	講義	アルゴリズム	坂井 剛	有	4単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

アルゴリズムの基礎を学習する。
フローチャートを用いつつプログラム構築のためのアルゴリズムを考えながら学ぶ。

【講義概要】

アルゴリズムは特定のプログラミング言語に依存しないが、本講義ではJava/Pythonでの実装形態も紹介する。
授業では毎回小テストまたは演習課題を与え、提出物が指定された基準を満たすことが必須となる。

回	授業計画及び学習の内容
1	アルゴリズムの基本
2	フローチャート、プログラミング言語
3	データ構造① 配列
4	データ構造② リスト
5	データ構造③ スタック・キュー
6	データ構造④ 木構造
7	条件分岐、繰り返し
8	中間試験
9	探索法①（線形探索、二分探索）
10	探索法②（ハッシュ探索、探索計算量）
11	ソート（基本選択、基本交換、基本挿入、クイック）
12	文字列、数値処理、グラフ処理
13	他の様々なアルゴリズム（ダイクストラ法、ベルマン・フォード法、ユークリッドの互除法、等）
14	機械学習で利用されるアルゴリズム
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%	10%		20%		100%

(補足)
・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
・レポートや自習課題は必ず提出すること。

【教員紹介】

大学院出身後、8年間企業においてSEとして業務に携わる。
その後2010年より教員として勤務。

【教科書・参考文献】

『ITワールド』（インフォテックサーブ）
『アルゴリズム図鑑 増補改訂版 絵で見てわかる33のアルゴリズム』（翔泳社：ISBN-9784798172439）

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		ウェブ・メディア科	2024		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	実習	office基礎	佐藤 薫	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

Office (Word、Excel、PowerPoint) の基本操作とGoogleアプリ (ドキュメント、スプレッドシート、スライド) の利用方法を実習を通して習得する。Wordは文書の書式設定、Excelは関数を含む表作成とグラフ作成まで、PowerPointはプレゼンテーションの作成を学習する。GoogleアプリでOfficeと同等レベルを作成できるようになり、ファイル設定などの機能も習得すること。

【講義概要】

Windows版のOfficeの基本操作を実習を通して学び、その後、Googleアプリの使用方法を実習する。OfficeとGoogleアプリは画面は違うが同じような機能があるのでどちらも操作を習得すること。Officeは教科書を使用し、Googleアプリは授業資料を配布。毎回、1～2問の課題を配布するので、仕上げ必ず提出すること。

回	授業計画及び学習の内容
1	Excelの基本操作、データ入力、複数シートの利用
2	Excelの表作成 (書式設定、配置、罫線など)、数式作成 (四則演算)
3	Excelの関数 (合計、平均、数値の個数など)
4	Excelのグラフ作成と編集
5	Googleアプリの基礎知識、スプレッドシート (表の新規作成)
6	Googleスプレッドシート (表の編集、グラフ作成)
7	Wordの書式設定 (文字書式、段落書式、文書のレイアウト設定)
8	Googleドキュメント (文書の新規作成、書式設定)
9	PowerPoint プレゼンテーションの作成 (スライドの新規作成、オブジェクトの挿入、デザイン設定)
10	PowerPoint プレゼンテーションの実行 (切り替え効果、アニメーション、リハーサル、スライドショー)
11	Googleスライド (プレゼンテーションの新規作成)
12	Googleスライド (スライドの編集、オブジェクトの挿入、効果の設定、スライドショー)
13	Googleアプリの機能 (Excelデータのインポート、共有設定など)
14	まとめ
15	まとめ

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	80%			20%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

【教員紹介】

専門学校でOffice系の科目、派遣会社で社会人向けのOffice研修を担当。Office関連の書籍の執筆も担当

【教科書・参考文献】

30時間でマスター Office2019 (実教出版)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2024		1年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	講義	色彩検定対策		山田忍	有	1単位 15時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
色彩について学び、その知識を作品制作に役立てる。色彩検定の取得。							
【講義概要】							
本講義では色彩検定の取得を目的とした講義を展開する。 色彩検定の受験終了後はその知識を活かすための演習を行う。 ウェブサイトの色彩設計を学ぶ。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	色彩を学ぶ意義、色彩検定について、色のユニバーサルデザイン						
2	色が見える仕組み						
3	色の表し方						
4	色覚タイプによる色の見え方						
5	高齢者の見え方、色のUDの進め方						
6	色彩検定 対策問題						
7	色彩検定 対策問題						
8	色彩検定 対策問題						
9	制作課題：Webサイトのワイヤーフレーム制作						
10	制作課題：Webサイトのワイヤーフレーム制作						
11	制作課題：Webサイトの色彩設計						
12	制作課題：Webサイトの色彩設計						
13	制作課題「Webデザイン制作」ワイヤーフレームをもとWebサイトのデザインを制作する						
14	制作課題「Webデザイン制作」ワイヤーフレームをもとWebサイトのデザインを制作する						
15	制作課題「Webデザイン制作」ワイヤーフレームをもとWebサイトのデザインを制作する						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	80%	0%	0%	20%	0%	100%	
(補足)	・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。						
【教員紹介】							
専門学校やエンタメ業界にてウェブ広報／ウェブデザイナーとして企画・制作業務に従事。							
【教科書・参考文献】							
色彩検定教科書、オリジナル教材							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		ウェブ・メディア科		2024		1年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎専門 必修	講義	資格対策 I		川前 亘	有	2単位	30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

情報検定(J検)情報活用試験3級および、ITパスポート試験合格を目標とする

【講義概要】

6月まではJ検の中で最も易しい3級の対策を行い、情報系分野の基礎知識を習得する。
その後ITパスポート試験の対策を行う。用語と問題を理解し、合格を目指す。
ITパスポート試験対策は、まずはマネジメント系の開発技術で全体像を掴み、その上で各論の解説&問題演習を実施する予定

回	授業計画及び学習の内容
1	資格対策授業の概要
2	J検3級対策： 解説&過去問題演習
3	J検3級対策： 解説&過去問題演習
4	J検3級対策： 解説&過去問題演習
5	J検3級対策： 小テスト / 解説&過去問題演習
6	J検3級対策： 学習方法解説 / 解説&過去問題演習
7	中間試験
8	中間試験試験振り返り
9	ITパスポート対策： マネジメント系（開発技術 上流工程） 解説&問題演習
10	ITパスポート対策： マネジメント系（開発技術 下流工程） 解説&問題演習
11	小テスト
12	ITパスポート対策： マネジメント系（プロジェクトマネジメント） 解説&問題演習
13	ITパスポート対策： マネジメント系（サービスマネジメント） 解説&問題演習
14	期末試験対策
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	75%	15%	0%	10%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

【教員紹介】

大手化学系メーカーで社内SEを経験後、独立系Silerでシステム開発経験有

【教科書・参考文献】

J検3級： Web上で一般公開されているJ検の過去問題
ITパスポート対策： 令和6年度 ITパスポート過去問題集 間久保 恭子著/株式会社インプレス

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	ウェブ・メディア科	2024	1年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎専門 必修	講義	資格対策Ⅱ	川前 亘	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

ITパスポート試験合格を目標とする

【講義概要】

前期に行った資格対策の続きとして、ITパスポート試験の対策を行う。用語と問題を理解し、合格を目指す。

回	授業計画及び学習の内容
1	ストラテジ系（経営戦略） 解説&問題演習
2	ストラテジ系（企業と法務） 解説&問題演習
3	ストラテジ系（システム戦略） 解説&問題演習
4	小テスト
5	テクノロジ系（基礎理論） 解説&問題演習
6	テクノロジ系（コンピュータシステム：ハードウェア） 解説&問題演習
7	テクノロジ系（コンピュータシステム：ソフトウェア） 中間試験対策
8	中間試験
9	テクノロジ系（コンピュータシステム：システム構成） 解説&問題演習
10	テクノロジ系（技術要素：データベース） 解説&問題演習
11	テクノロジ系（技術要素：ネットワーク） 解説&問題演習
12	テクノロジ系（技術要素：セキュリティ） 解説&問題演習
13	小テスト / テクノロジ系（技術要素：その他） 解説&問題演習
14	過去問解説 / 期末試験対策
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	75%	15%	0%	10%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

【教員紹介】

大手化学系メーカーで社内SEを経験後、独立系Silerでシステム開発経験有

【教科書・参考文献】

J検3級：過去問題

ITパスポート対策：令和6年度 ITパスポート過去問題集 間久保 恭子著/株式会社インプレス

東京電子専門学校 ウェブ・メディア科

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		ウェブ・メディア科	2024		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	基礎学力	佐々木 一仁	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

- ①就職試験対策として必要な基礎学力を身に付ける
- ②現実の状況を日頃から理解し、就職活動をする意欲をもたせる

【講義概要】

- ①日本語の基礎知識
- ②数学の基礎計算
- ③SPI試験対策など

回	授業計画及び学習の内容
1	授業方針・就職状況・その他 計算問題（100マス計算など）
2	計算問題（分数・小数・混合） SPI対策問題
3	計算問題（分数・小数・混合四則演算・法則性） SPI対策問題
4	計算問題（分数・小数・混合四則演算・法則性） 日本語の基礎知識（漢字の読み書き）
5	日本語の基礎知識（漢字の読み書き・四字熟語） SPI対策問題
6	日本語の基礎知識（四字熟語） SPI対策問題 これまでの復習
7	中間試験
8	図形問題（角度）
9	図形問題（面積） 計算問題（暗算）
10	一次方程式・不等式 SPI対策問題
11	連立方程式・不等式 SPI対策問題
12	方程式を利用した文章問題（つるかめ算） 日本語の基礎知識（漢字の読み書き）
13	方程式を利用した文章問題（整数・年齢算） SPI対策問題
14	方程式を利用した文章問題 日本語の基礎知識 SPI対策問題 これまでの復習
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	10%		10%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
 - ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

【教員紹介】

中学校、高等学校で20年以上にわたり生徒を指導。「わかる」授業を心掛けている。

【教科書・参考文献】

BASIC SCHOLASTIC ABILITY-試験対策に役立つ数理分野(ウイネット)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		ウェブ・メディア科	2024		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	就職対策 I	石井眞木子	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

グループディスカッションを通して自分自身を理解し、他者とのコミュニケーションを学ぶ。
また、就職活動の流れからソフトウェア業界の説明・会社訪問・採用試験などについてキャリアコンサルタントの視点から解説し、来年度の就活がスムーズに行えるように履歴書、採用面接の準備を行う。

【講義概要】

企業説明会から採用試験までの対応をキャリアコンサルタントとして解説し、ワークシートを使って自己分析を深める。
また、発表会、スピーチなどを通して人前で話す経験を積む。

回	授業計画及び学習の内容
1	講義の説明、オリエンテーション、グループディスカッションの進め方を学ぶ（価値観のワーク）
2	就職活動の概要を把握、就職活動の全体像、主なスケジュールなどの説明、社会人基礎力の理解
3	働くことの意味、社会人との違いの理解
4	グループディスカッションの進め方を学ぶ その1 実習「価値観のワーク」
5	グループディスカッションの進め方を学ぶ その2 実習「ボランティア」
6	お金の話（給与＋残業代）
7	中間試験
8	ソフトウェア業界の理解、職種の構成、SEの業務内容の理解
9	ワークシートを使って自己分析をする その1 パーソナリティ、長所と短所等
10	ワークシートを使って自己分析をする その2 心の4つの窓「ジョハリの窓」
11	ワークシートを使って自己分析をする その3 学生時代に力を注いだこと
12	ワークシートを使って自己分析をする その4 挫折経験、キャリアプラン、将来の夢
13	企業の採用に対する考え方などについての知識の理解とグループワークによる実践
14	交流分析 その1 エゴグラムによる自己の行動の特徴の理解と今後の行動変容の認識
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%		10%	10%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

【教員紹介】

担任業務の学生の生活指導、就職支援のために研鑽を積み産業カウンセラー、国家資格のキャリアコンサルタントの資格を取得し、学生のキャリア支援に勤しむ。

【教科書・参考文献】

なし

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象
工業専門課程		ウェブ・メディア科	2024	1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験
一般教育 必修	実習	プレゼンテーションⅠ	黒澤くみこ	有
単位・時間数				
2単位 30時間				

【授業の到達目標及びテーマ】

- 社会人としての総合力が問われる「プレゼンテーション」を学ぶことにより、社会人としての総合力を身に付ける
- 社会人として活動することへの意識を高め、組織の中で求められるコミュニケーション力の習得
- 社会人基礎力（前に踏み出す力・考え抜く力・チームで働く力）を身に付ける
- それらを就職活動に活かす

【講義概要】

社会人として求められる力について理解した上で、それを行動に移せるような「知識」と「スキル」と身に付けていただきます。講義と実習、グループワークを通じて社会人になるための準備し、それを通じて成長していただきます。

回	授業計画及び学習の内容
1	後期授業のガイダンス、スピーチ（後期授業に向けての抱負30秒スピーチ）自己チェック「自分を知る」
2	印象管理、信頼される挨拶態度について、ショートスピーチ
3	学生と社会人の違いについて（意識変革、行動変革） ショートスピーチ
4	優れた自律型人材の要件（社会人としての心構えと行動について）
5	就職活動に必要なマナー、言葉遣い
6	敬語テスト、回答、
7	ここまでのまとめ
8	電話対応スキルアップ
9	会社訪問をイメージしたロールプレイング
10	ビジネスコミュニケーションケーススタディ スピーチ
11	コミュニケーションステップ
12	対人影響力とリーダーシップ
13	グループワーク「コンセンサスの取り付け」
14	総まとめ
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	60%		10%	30%		100%

（補足）

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

【教員紹介】

1988年、有限会社シービー設立
 35年間に亘り企業における人材育成（コミュニケーションに重点を置いた研修）に携わる
 1989年より東京電子専門学校にて、情報系の授業を担当（ビジネスマナー、表現技法、プレゼンテーション、）
 著書「営業マンはお辞儀をするな」

【教科書・参考文献】

講義内容に沿ったプリントの配布

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		ウェブ・メディア科	2024		1年 通年
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	実習	体育実習 I	ウェブ・メディア科 担当教員	無	4単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

運動や、課外活動、学園祭を通して、健全な身体と精神を育む。
 ハイキングは、自然の多い公園などをおおむね 4時間程度歩き、心身のバランスを図ります。
 学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。
 心身の健全な育成を目指しています。

【講義概要】

この授業は、春と秋のハイキングやスポーツ大会、学園祭（準備2日間、学園祭2日間）の参加を以て、評価します。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	春のハイキング、またはスポーツ大会(卓球やバスケ等)
3	
4	
5	学園祭準備（1日目、2日目）
6	
7	
8	学園祭（1日目）
9	
10	
11	学園祭（2日目）、後片付け
12	
13	
14	秋のハイキング、またはスポーツ大会(卓球やバスケ等)
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合 (補足)						100%

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】